

令和3年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
1	公共的空間感染防止対策事業	町内を走る循環バスや福祉事業所で利用する公用車等の車内及び町民等が利用する町内公共施設の共有空間に、抗菌・抗ウイルスコーティング及び除菌による感染防止対策を講じました。	2,743,800	1,763,300	○公用車抗菌コーティング (総務財政課分) マイクロバス(28人乗り)：1台 ハイエース(15人乗り)：1台 ハイエース(10人乗り)：1台 軽自動車：4台 (商工観光課分) マイクロバス(25人乗り)：1台(施工後3カ月で廃車のため交付金対象外) ハイエース(15人乗り)：1台 (保健福祉課分) 社協福祉車両：3台 デイサービス車両：4台 ○プラズマイオン発生機(小型バス用) ○施設抗菌コーティング 笠置駅舎、笠置会館、つむぎてらす、児童クラブ、保育所、産業振興会館	新型コロナウイルス感染対策として、職員が使用する公用車をはじめ、町内循環バスなどに抗菌・抗ウイルスコーティング等の感染対策を行いました。バスを利用される住民の安心・安全が図ることができました。 また、公共施設にも抗菌コーティングを施すことで、来庁者や勤務職員への感染防止対策を講じることができました。
2	役場庁舎等セミセルフレジ導入事業	感染防止のため、役場の窓口等にセミセルフレジを導入しました。	2,618,000	1,329,900	セミセルフレジ：2台 設置個所：税住民課、産業振興会館設置 保守費用5年分(後年度保守分は対象外)	現金を取り扱う機会を少なくすることで、新型コロナウイルス感染防止対策をはじめとする衛生面の改善と、現金紛失などの公金取扱いの改善を図ることができました。
3	役場窓口感染対策事業	感染防止のため、役場窓口 に飛沫感染防止対策を施すこととして、飛沫感染防止用アクリル板を購入しました。	118,800	118,800	カウンター用スクリーン(4セット) 幅600：2セット 幅900：2セット	職員と来庁者間の飛沫による感染を防ぐために設置し、庁舎内におけるマスク着用と共に飛沫感染防止に効果があったものとしております。
4	家庭ごみ排出支援事業	感染予防のため、長引く自粛生活によりゴミの排出量が多くなったため、町指定ゴミ袋とゴミ分別早見表の冊子を配布しました。	596,284	596,284	ごみ分別・出し方ガイドブック(冊子)：700冊 ごみ袋代(引換券による) 218,450円 郵送料 200,734円	ごみ袋の配布を実施したことにより、在宅時間が増えたことによる各家庭の家計負担を軽減できたとともに、分別方法や処分方法の相談のための来庁者も減少し、接触の機会・新型コロナウイルスの感染リスクを減らすことができました。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
5	行政手続き等における書面・押印・対面規制の見直し事業	例規に基づく行政手続き等における書面・押印を見直し、感染予防に繋がる対面規制の見直しを行いました。	3,982,000	3,982,000	委託料 3,982,000円	コロナ禍にあって、書面・押印並びに対面規制の見直しを図ることにより、新たな働き方としての取り組みを進めることができました。
6	公共施設衛生環境改善事業	感染対策のため、公共施設のトイレ手洗い場を自動水栓化にしました。	2,239,600	2,239,600	工事請負費 第2庁舎：3カ所 笠置会館：2カ所 笠置保育所：13カ所 振興会館：11カ所	町有施設のトイレ手洗い場を自動水栓にすることによって、衛生面の改善、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図ることができました。 ただし、センサーによる給水となったため、今後において停電時の給水や、またトイレ出入り口に扉があることによるドアノブへの接触が絶たれていないことから、衛生面の徹底が行え切れていないことが今後の課題となっています。
7	防災備蓄品整備事業	避難所における衛生環境の改善を図るため、防災備蓄品として衛生用品を追加購入しました。	2,315,993	2,315,993	○災害時用トイレ：10機 ○専用バッテリー：10台 ○トイレ用簡易個室：10台 ○トイレ用消耗品（凝固剤等）：39セット ○子ども用紙おむつ サイズL：44枚×2セット、M：64枚×2セット、S：82枚×1セット ○大人用紙おむつ サイズL：26枚×3セット、M：30枚×5セット ○生理用品：17包 ○小漏れパッド：9包 ○ビニール手袋100枚入り サイズM：5個、S：5個 保管場所：すまいるセンター	災害時における避難所生活を想定した際に、災害関連死における上位死因として、トイレの衛生面に起因する要因が度々あげられていました。そのため、衛生面や新型コロナウイルス感染防止対策を目的に簡易トイレを整備しました。 便袋は密閉性に優れているため、常時でも感染症罹患者と接した際の着衣等を密閉し廃棄できる等、感染症対策としても有用性に一定の効果があるものと考えられます。 また、整備後に各区役員及び町職員を参集し、使用説明も実施しました。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
8	WEB会議環境整備事業	感染対策のため、オンライン方式の会議が増えてきており、笠置町がホストとなって開催する会議についても対面式からオンライン方式へと移行できるようにWEB会議における環境を整備しました。	524,480	496,480	ノートパソコン：1台（Zoomライセンス・初期設定費用含む） 次年度以降のライセンス分は対象外 28,000円	近年、Webによる会議が増えてきており、日々の業務に利活用されているところ。対面型としないことによる新型コロナウイルス感染防止の観点だけでなく、会議への出席に係る移動時間の削減や旅費削減にも繋がりました。
9	町内事業者オンライン化促進支援事業	町全体で人の流れを取り戻すことを目的に、新たにHPを開設したりSNS等での情報発信などに協力する中小企業及び小規模事業者も支援するため、オンライン化へ環境を整備する事業者に対し補助金を交付しました。 また、オンラインを活用したビジネス展開についてなど様々な研修を行いました。	1,570,000	1,570,000	補助金 1,550,000円（17事業所） セミナー講師料 20,000円	補助金を活用してのホームページ作成やインターネットを活用しての事業展開など、コロナ禍の中で小規模事業者への支援を行うことができました。 本補助金を活用された事業者からは、整備したオンライン環境を通じて商いの予約が入っており、整備してよかったとの声をいただいております。 【参考：補助金制度】 2021年4月以降にデジタル化に取り組んでいる経費につき、2/3もしくは10万円のいずれか少ない額を補助
10	WEB商店街構築事業	アフターコロナを見据え、感染防止を含めてオンライン化が急速に進むであろう新しい生活スタイルに対応するため、オンラインで取引や情報発信をおこなう町内事業者の拠点（WEB商店街）を構築しました。	1,777,600	1,777,600	システム構築料 1,777,600円	アフターコロナを見据えた本事業では、インターネットを介した仮想商店街システムの構築基盤を整えることができました。今後、新規事業者の参入等、新たな事業展開に期待できるものです。
11	観光PR促進事業	コロナ禍で人流が抑制された状況を取り戻すため、情報誌などを活用し、広域的な観光PRを行いました。	385,000	385,000	広告料 385,000円	雑誌「リーフ」にボルドーリング情報などを掲載することにより、広く笠置町を周知することでアフターコロナを見据えた観光誘客に寄与することができました。

令和3年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
12	統合型GIS整備事業	感染対策として来庁せずとも農地台帳の情報を閲覧することができるよう農地台帳のデータをインターネット上で公開するために、正確な地番図の更新と統合型GISの整備をしました。	2,384,800	2,384,800	地番図更新 1,856,800円 農地台帳デジタル化 528,000円	農地台帳のデジタル化により、農地情報の取得が容易になることで、来庁者と職員の接触機会を低減し、新型コロナウイルス感染対策を図ることができました。 また、広く閲覧できるようになったことにより、農地取得の促進に繋がり、農地が引き継がれていくことが期待されます。
13	子育て世帯への臨時特別給付金	国の制度で対象外となっている方を対象に、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、子育て世帯を支援するため児童1人当たり10万円の給付金を給付しました。	500,178	500,178	国制度の対象外の方に対する給付 (5人) 500,000円 事務雑費 178円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、国の制度では給付の対象外となっている方を対象に、子育て世帯の支援として給付金を給付しました。在宅時間の増による家計の負担軽減に寄与することができました。
14	公共施設長期的感染予防対策事業	感染予防として、役場や産業振興会館などの公共施設に空気清浄機を設置しました。	1,463,000	1,463,000	空気清浄機 大型：7台 設置場所：第1庁舎 3台、振興会館 3台、笠置会館 1台 小型：25台 設置場所：第1庁舎 7台、第2庁舎2台、振興会館 3台、つむぎてらす 4台、保育所 7台、笠置会館2台	今までに設置していなかった空気清浄機を町有施設に導入を図ることにより、新型コロナウイルス感染対策・環境衛生面で改善を図ることができました。

令和3年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
15	小中学校感染対策事業	児童生徒や教職員の感染リスクを軽減するために、小中学校に二酸化炭素濃度計や飛沫防止パーテーションを配置しました。	282,120	282,120	笠置小学校 CO2モニター：8台 飛沫防止パーテーション 幅850：11セット 幅550：9セット 十字型：4セット 笠置中学校 CO2モニター：7台 飛沫防止パーテーション 幅850：15セット 幅550：15セット 十字型：6セット	新型コロナウイルス感染対策として購入した物品を使用・設置をすることで、教師や児童の校内における飛沫感染防止、換気促進を図ることができました。
16	役場第2庁舎空調設備改修事業	感染対策のため、住民が多く訪れる役場第2庁舎の空調設備を改修しました。	1,831,500	1,831,500	工事請負費 1,831,500円	窓口業務を多く担っている役場第2庁舎では、住民の方が証明書の発行申請や相談などで来庁されます。そのため、その施設の空調設備を改修したことによって、空気の循環や室温調整により、体調不良からくる感染リスクの低減・室内の環境改善を図ることができました。
17	京都府緊急事態措置協力金（令和2年度からの繰越）	令和3年1月13日、京都府に緊急事態宣言が発令され、営業時間短縮要請に協力いただいた企業・団体及び個人事業主に対し協力金を支給するに当たって、町事務費支出に本交付金を充当しました。	181,701	181,701	(京都府の時短要請協力に基づき、京都府通知による経費の笠置町負担金を支出)	京都府主導で実施された営業時間の時短要請であり、本来は町として評価を下すものではありませんが、企業等におけるクラスター発生を抑止に繋がったものと考えています。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
18	避難施設衛生等確保事業（令和2年度からの繰越）	避難場所でもある本庁舎の換気・空調機器の導入・強化により換気機能強化を図るとともに、トイレを衛生的なものに更新しました。	16,942,350	16,942,350	役場庁舎改修 （トイレ1階・2階、電算室・更衣室・2階会議室空調等が対象）	トイレ改修や換気扇改修といった衛生面環境の整備を実施したことにより、職場環境の改善が図られ、室内空気の循環や、来庁者や勤務職員の体調不良などからくる感染リスクの低減に繋げることができました。 また、庁舎の耐震改修と合わせて実施することにより、全工事期間の短縮を図ることができました。
19	避難所安心確保事業（令和2年度からの繰越）	避難所でもある各区集会所のトイレの改修を実施しました。	4,603,480	4,554,000	工事請負費 東部区 2,398,000円 飛鳥路区 2,156,000円 対象外経費として浄化槽法定検査料45,000円、くみ取り4,480円	令和2年度に実施した切山総合センターに引き続き、東部区・飛鳥路区における集会所のトイレ改修を実施しました。 工事内容としては、合併浄化槽の設置と自動水洗トイレへの改修が行われ、区民活動に利用される集会所の衛生面の向上を図ることにより、新型コロナウイルスの感染リスクの低減と共に、地域住民の利便性の向上を図ることができました。
20	接触機会削減事業（令和2年度からの繰越）	役場庁舎の電話をダイヤルインにすることにより、取次ぎに係る不要な電話への接触機会を削減し、職員間の感染防止を図りました。	2,420,000	2,420,000	工事請負費 2,420,000円	コロナ禍にあって、ダイヤルインを導入することにより、取次時間の短縮等住民サービスの向上を図りつつ、職員の電話機への接触機会を削減することなどにより、職員間の感染防止に寄与することができました。